

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	31399	地域老人福祉推進事業費 (老人クラブ活動費助成事業)	高根支所 地域振興課	内線 3710	
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事
	款	3 民生費		○ B	一般予算の上乗せとして実施されている事業
	項	1 社会福祉費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業
	目	3 老人福祉費		D	その他事業
市長の約束	5	医療・福祉を充実させます 地域住民が互いに支えあう仕組みや、緊急時の支援を万全にするため、独居老人、要援護者等への地域福祉体制を整備します。			

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	60歳以上の市民で構成される単位老人クラブ及び連合組織	受益者数	9,796 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	明るい長寿社会と豊かな老後を目指す。		
概要	事業の実施手法(手段)	高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブに対し、福祉の向上のために助成し、老人クラブを通じて各種活動の育成、支援を行う。		
	前回の評価からの改善・改革のポイント	老人クラブに加入しやすい体制の構築に向け、組織や活動の見直しを促しており、役員会等で検討中である。		

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 会員数	算出根拠等	実績値/目標値	人	目標値	11,474	10,500	11,100	11,600
				実績値	11,474	10,405	9,796	-	
				達成率(%)	100	99	88	-	
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
	② 単位老人クラブ数	算出根拠等	実績値/目標値	人	目標値	159	150	150	143
					実績値	159	150	143	-
				達成率(%)	100	100	95	-	
コスト面	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 加入率	算出根拠等	実績値/目標値	%	目標値	46.8	42.0	43.0	44.0
					実績値	46.7	41.7	39.3	-
				達成率(%)	100	99	91	-	
コスト面	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 受益者1件当たり(円)	算出根拠等	実績値/目標値	(A/B)	4,828	5,122	5,316	5,250	
					受益者	高根区会員数(4月1日現在)(B)	87	82	79
				達成率(%)					
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額			
	歳出(千円)		(A)	420	420	420	420		
	受益者負担(使用料・負担金等)								
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			171	163	280	280		
コスト面	一般財源			249	257	140	140		
	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画			
	①	受益者1件当たり(円)	(A/B)	4,828	5,122	5,316	5,250		
		受益者	高根区会員数(4月1日現在)(B)	87	82	79	80		

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	A	総合計画・市長公約に位置付けられ、高齢者を中心に地域住民が互いに支えあう仕組みとして、老人クラブの活動は、地域福祉体制づくりの一つであり、有意義な政策である。
	B(1) 一部結びつく		
	C(0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	A	高齢者の方が健康でいきいきとした生活を送るために老人クラブ活動は重要な施策であり、老人クラブからの補助金の増額について、強い要望もある。
	B(1) ある程度のニーズがある		
	C(0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	B	健康で活躍する高齢者が増加することにより、地域の活性化につながる。
	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	B	近年の老人クラブ加入者の減少は、高齢者の趣味や考えの多様化したことによるものである。
	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	B	高齢者が主体となって健康づくりや地域交流などの自主的な運営を支援している。
	B(1) 概ね有効である		
	C(0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	B	役員会等により、組織や活動の見直しに取り組んでいる。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	A	補助金の額は、会員数及び単位老人クラブ数により、算出するため。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	A	補助金の額は、会員数及び単位老人クラブ数により、算出するため。
	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	A	補助金の額は、会員数及び単位老人クラブ数により、算出するため。
	B(2) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
合計	16.0 / 20.0	100点換算	80 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら、事業継続し、活動の育成と支援を行う。</li> <li>地域振興特別予算(31399事業)の老人クラブ活動費補助金の一本化を図る。</li> </ul>				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	<p>・平成22年度事業評価において、老人クラブ(連合長寿会)の加入率は低下していることから、長寿会に加入しやすい体制の構築を促すなどの取組みが必要であるとの指摘をしているところであるが、連合長寿会に加盟しない地区もあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、地域としての必要性も含め、今後のあり方についても検討する必要がある。</p>				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	420	420	0	420	420
国庫支出金					
県支出金	280	280	0	280	280
起債					
その他					
地域振興特別予算	140	140	0	140	140

予算要求の概要	長寿会事務局設置に係る助成経費
要求額増減理由	
①支所	地域を基盤とした老後の社会活動の円滑な展開とまちづくりへの高齢者の参画を支援し、老人クラブの活動をより一層充実した取組みにするため、一般予算(31336事業 老人クラブ活動費補助金)へ移行する必要がある。
②本庁所管課(老年介護課)	地域を基盤とした老後の社会活動の円滑な展開とまちづくりへの高齢者の参画を支援し、老人クラブの活動をより一層充実した取組みにするため、一般予算(31336事業 老人クラブ活動費補助金)へ移行する必要がある。
地域政策課	
支所地域の老人クラブへの補助は人件費を補助対象としているため、早急に高山地域と同条件となるよう調整し、一般予算化の検討が必要である。	

財務部査定の考え方	要求どおり
市長査定の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	61199	地域活性化施設振興事業	担当課	高根支所 地域振興課	内線	3710
予算	会計	1 一般会計	特別 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	6 商工費		○ B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1 商工費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1 商工振興費		D	その他事業	
市長の約束	2	商工業・地場産業をさらに発展させます ◎景気回復を最重要課題として取り組みます				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	受益者数	452 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	道の駅飛騨たかね工房は、地域の情報発信及び特産品の直売所としてだけでなく、地域の活性化施設として重要な位置づけとなる施設であるが、年間を通じた安定した集客が困難であるため、施設の運営が非常に厳しい状況にある。よって、施設の安定した運営のため、業務委託料を支出するもの。		
概要	事業の実施手法(手段)	道の駅飛騨たかね工房の安定した運営のため業務委託料を支出するもの。		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 年間営業日数	算出根拠等	日	目標値	309	309	310	309
			実績値	309	309	310	-
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 年間入り込み客数	算出根拠等	人	目標値	45,600	65,200	61,500	61,500
			実績値	62,096	55,677	61,500	-
算出根拠等			達成率(%)	136	85	100	-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 受益者1件当たり(円)	算出根拠等	(A/B)	目標値	102	114	103	103
			実績値	102	114	103	-
算出根拠等			達成率(%)	102	114	103	-

  

コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			
	H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額
歳出(千円)	(A) 6,340	6,340	6,340	6,340
受益者負担(使用料・負担金等)				
その他特定財源(国・県支出金・起債等)				
一般財源	6,340	6,340	6,340	6,340

  

コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 受益者1件当たり(円)	(A/B)	102	目標値	102	114	103	103
			実績値	102	114	103	-
算出根拠等			達成率(%)	102	114	103	-

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	・道の駅が存在は、高山市の東の玄関口となる高根地域と高山市街地とを結ぶ重要なポイントである。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	A	・地元農作物の販売などのニーズがある。農産物販売は今年度より取り組みを強化し、利用の増加が見込まれる。
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	B	・高根地域はもちろんのこと、四支所や市全体への経済の波及効果が見込まれる。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	・年間5万人を超える利用がある。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	A	・地域の活性化施設として、道の駅を存続させるための手法・活動内容として有効である。
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	・業務改善や、さらなる利用増に向けて取り組んでいる。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	・指定管理施設間での人事交流などにより業務での工夫や人員のやり繰りによるコスト削減に取り組んでいる。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	A	・地域住民の他、観光客の入り込みなどによる受益を考慮すると、コストは適正である。
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	B	・限られた経費の中で、改善・工夫に取り組んでおり、コストは概ね適正である。
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		15.0 / 20.0	100点換算 → 75 / 100	

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・道の駅としての役割を果たす為に必要な施設である。今後もコスト削減、さらなる利用増に取り組んでほしい。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・地域の個性を活かした地場産品の物販・観光の拠点施設であるが、老朽化や採算面から厳しさが増しており、今後のあり方などについて検討する必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	6,340	6,340	0	6,340	6,340
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	6,340	6,340	0	6,340	6,340

予算要求の概要	道の駅飛騨たかね工房管理業務委託料
要求額増減理由	
①支所	地域活性化の拠点施設としての利活用の促進 経営改善
②本庁所管課(商工課)	赤字施設であるため、経営改善及び施設の方向性の検討が必要である。
地域政策課	
事業者が自己費用で運営可能となるような取組みが必要である。地域振興特別予算終了後を見据えた方針の策定が必要である。	

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	72199	地域道路橋りょう管理振興事業費 (市道未登記用地測量事業)	担当課	高根支所 基盤産業課	内線	3742
予算	会計	1 一般会計	特別 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	7 土木費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2 道路橋りょう費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1 道路橋りょう総務費		O	D その他事業	
市長の約束						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民	受益者数	452 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	未登記路線の整備(旧町村時代に、未登記のまま道路整備した路線の登記整理)		
概要	事業の実施手法(手段)	市道未登記箇所の測量を行い、所有者から寄付により道路用地として高山市へ所有権移転登記を行う。		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 分筆登記済み路線延長		m	目標値	470	100	400
			実績値	470	100	400	-
算出根拠等	未登記路線実績調査より		達成率(%)	100	100	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 未登記整備進捗率 (分筆登記済路線延長累計/未登記路線延長(27,244m)*100)	%	目標値	3.2	3.6	5.0	6.4
			実績値	3.2	3.6	5.0	-
算出根拠等	未登記路線実績調査より		達成率(%)	100	100	100	-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 受益者1件当たり(円)	(A/B)	目標値	10,108	4,111	11,062	11,111
			実績値	493	476	452	450
算出根拠等	4月1日現在の高根人口(B)		10,602	19,570	12,500	12,500	
算出根拠等	分筆登記済み路線 1mあたり		10,602	19,570	12,500	12,500	
算出根拠等	決算額/分筆登記済延長						

  

コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)	H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)	(A)	4,983	1,957	5,000
受益者負担(使用料・負担金等)					
その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
一般財源		4,983	1,957	5,000	5,000

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	C	総合計画等に掲げる事業内容のものではない。
	B(1) 一部結びつく		
	C(0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	B	官民の土地の境界を明確にするために必要な事業である。
	B(1) ある程度のニーズがある		
	C(0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	B	市道を利用する地元住民に限定。
	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	A	予算内で可能な限り事業を進めている。
	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	B	未登記路線の延長が27,244mと多いため、莫大な時間と費用を要する。
	B(1) 概ね有効である		
	C(0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	A	特になし。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	A	特になし。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	A	単価契約により土地家屋調査士協会に発注しており、適正であると考え。
	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	A	単価契約により土地家屋調査士協会に発注しており、適正であると考え。
	B(2) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
合計	15.0 / 20.0	100点換算	75 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	重要路線の未登記処理は、平成27年度以降も継続していく必要がある。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・H26までに重要路線の未登記処理を解消できるよう取り組んでいく必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
歳出(千円)	5,000	5,000	0	5,000	5,000
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	5,000	5,000	0	5,000	5,000

予算要求の概要	市道未登記用地の調査、測量、登記に要する費用
要求額増減理由	
①支所	
	・世代交代により地権者の了解を得るのに時間を要する
②本庁所管課(維持課)	
	市道未登記路線の処理については、年次計画に基づき積極的に業務委託を発注し未登記路線の解消に努める必要がある
地域政策課	
	地域振興特別予算措置期間に完了することが必要である。

財務部査定の考え方	要求どおり
市長査定の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94199	花いっぱい運動推進事業	担当課	高根支所 地域振興課	内線	3710
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9 教育費		○ B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4 社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1 社会教育総務費		D	その他事業	
市長の約束	4	個人・家庭・地域を大切に作る社会を築きます。 ・市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	受益者数	452 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・高根地域独特の自然環境を活かした山野草を植栽することで、地域を花で飾り、観光客へのイメージアップと住民の地域への愛着心を高揚させる。		
概要	事業の実施手法(手段)	・花いっぱい用花苗の購入 ・花壇の整備・管理、花苗の植栽等を高山市シルバー人材センターへ委託		
	前回の評価からの改善・改革のポイント			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	花いっぱい用花壇の整備箇所数	箇所	目標・実績			
				H21	H22	H23見込	H24計画
	算出根拠等			11	11	11	11
				11	11	11	11
			達成率(%)	100	100	100	-
成果面	②	花を楽しむことのできる期間	月	目標・実績			
				H21	H22	H23見込	H24計画
	算出根拠等						
			達成率(%)				
コスト面	①	花を楽しむことのできる期間	月	目標・実績			
				H21	H22	H23見込	H24計画
	算出根拠等						
			達成率(%)				
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21	H22	H23	H24
	歳出(千円)(A)			決算額	決算見込額	予算額	実施計画額
				900	791	800	800
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源						
コスト面	①	受益者1件当たり(円)(A/B)	7~9月の道の駅利用者(B)	目標・実績			
				H21	H22	H23見込	H24計画
				33	32	31	31
				27,541	24,969	26,000	26,000

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	・地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備活動の予算枠の確保について市長公約に位置づけられ、安心して暮らせる地域を築くためにも、政策的な重要性は高い。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	・花いっぱい運動を通じて地域の連携、地域のイメージアップを図ることの必要性は高い。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	A	・高根地域住民の連携はもとより、地域を訪れる観光客等へのイメージアップにも波及効果がある。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	A	・6種類の花で3ヶ月鑑賞できる。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	A	・この事業において、花壇の管理等は高山市シルバー人材センターへ業務委託しているが、同センターの地元会員の雇用の確保の上からも有効である
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	A	・この事業の課題はない。花いっぱい運動を高根地域全域に広げてほしいと地域から要望があるが、設置する花壇を限定している。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	B	・花苗の補植を行い、現行の花壇を維持する。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	A	・この事業は適正である。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	B	・事業内容は概ね適正である。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	17.0 / 20.0	100点換算	85 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・高根地域独特の自然環境を活かした山野草を植栽することで、地域を花で飾り、観光客へのイメージアップと住民の地域への愛着心を高揚させる事業であり、今後も継続する。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・「花いっぱい運動」に対しては、当該地域振興予算のほか、一般予算による補助金(市民憲章推進事業補助金、特色ある地区活動事業補助金等)が直接・間接に助成されており、地域振興特別予算の終期も踏まえた助成のあり方を再検討するとともに、事業費規模などについても検討する必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	800	800	0	800	800
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	800	800	0	800	800

予算要求の概要	花苗の購入・管理業務委託にかかる経費
要求額増減理由	
①支所	山野草の定着後の維持管理
②本庁所管課(市民活動推進課)	地域社会教育推進事業は、花いっぱい運動に係る経費として全支所地域において地域振興特別予算に計上されており、管理委託や花苗等の配付等、地域によって異なっている。現在、市民憲章推進協議会が実施している花いっぱい運動に対する助成等類似事業との関係を整理しているところであり、当面、当該事業を継続するなかで、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。
地域政策課	
同上	

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	94699	地域文化振興事業	担当課	高根支所 地域振興課	内線	3710
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9 教育費		○ B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4 社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	6 文化振興費		D	その他事業	
市長の約束	9	伝統文化を守り、次代へ継承します。 ・心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりに もつながら芸術文化活動をさらに浸透させていく。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所管内住民	受益者数	452 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・文化芸能祭を通して、地域の伝統・文化を再認識し、地域への愛着、郷土意識を高めることができる。 ・地域の文化振興と地域コミュニティの推進を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	・高根地域の文化芸能祭の運営費を社会教育推進協議会へ補助する。		
	前回の評価からの改善・改革のポイント			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
① 高根地区文化祭の開催回数		回	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
① 高根地区文化祭の参加人数		人	目標値	200	200	200	200
			実績値	200	200	200	-
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
① 高根地区文化祭の参加人数		人	目標値				
			実績値				-
算出根拠等			達成率(%)				-
事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)				H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額
歳出(千円)				(A) 150	150	150	150
受益者負担(使用料・負担金等)							
その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
一般財源				150	150	150	150
コスト指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
①	受益者1件当たり(円)	(A/B)	目標値	304	315	332	333
			実績値	493	476	452	450
算出根拠等							

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準			評価	評価内容の説明など	
	A(2)	B(1)	C(0)			
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく		A	・芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出のいずれも市長公約に位置づけられ、地域文化の保存と継承を推進する上でも、政策的な重要性は高い。	
	B(1)	一部結びつく				
	C(0)	結びつかない				
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している		A	・高根地域の少子高齢化が加速する中において、文化交流を通じて地域の連携を図ることの必要性は高い。	
	B(1)	ある程度のニーズがある				
	C(0)	少ない、減少している				
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ		A	・高根地域住民の参加率も約45%と高く、市民全体に波及している。	
	B(1)	概ね市民全体におよぶ				
	C(0)	わずかな受益者に限定される				
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)		A	・この事業は住民の意識も高く、参加率も高いことから十分達成している。	
	B(1)	概ね達成している (75%以上)				
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)				
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である		A	・この事業は地域の公民館等において開催される文化芸能祭等に対し助成されているものであり有効である。	
	B(1)	概ね有効である				
	C(0)	見直しが必要である				
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている		B	・事業内容がマンネリ化しているという意見があることから、社教と調整しながら事業内容を見直す必要がある。	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる				
	C(0)	対応していない				
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている		A	・コスト面では限られた予算において実施されている。	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる				
	C(0)	対応していない				
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である		A	・この事業は適正である。	
	B(1)	概ね適正である				
	C(0)	改善が必要である				
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である		A	・参加率が高いことから適正である。	
	B(2)	概ね適正である				
	C(0)	改善が必要である				
合計				19.0 / 20.0	100点換算	95 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・この事業は、高根の住民の心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、住民の参加率も高く、高根の住民が集う場所でもあるので引き続き継続する。					

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	○	縮小	廃止の検討	完了
	・全市的なバランスのなかから、地域振興特別予算の終期も踏まえた助成のあり方の再検討や事業費規模などについて、検討する必要がある。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。					

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部 調整額	市長 査定額
歳出(千円)	150	150	0	150	150
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	150	150	0	150	150

予算要求の概要	文化芸能祭の開催に対する助成
要求額増減理由	
①支所	文化芸能祭を通じて、地域の伝統・文化を再認識し、地域への愛着・郷土意識を高めると同時に文化振興と地域コミュニティの醸成を図ることが必要である。 地域振興特別予算の終期を踏まえた検討が必要である。
②本庁所管課(生涯学習課)	地域文化振興事業は、地域の公民館等において開催される文化祭・芸能祭、文化講演会等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されているが、地域によって、内容・実施主体・助成割合等が異なっているため、一定のルール化について検討する必要がある。 また、文化芸術鑑賞事業等一般予算で行っている文化振興事業と地域文化振興事業との関係についても整理する必要がある。
地域政策課	
同上	

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	95199	地域スポーツ振興事業	担当課	高根支所 地域振興課	内線	3710
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9 教育費		○ B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	5 保健体育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1 体育施設費		D	その他事業	
市長の約束	9	伝統文化を守り、次代へ継承します。 ・心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりにもつながる芸術文化活動をさらに浸透させていく。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	受益者数	452 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各軽スポーツを通して、地域の連携と健康増進を高めることができる。</li> <li>地域のスポーツ振興と地域コミュニティの推進を図る。</li> </ul>		
概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>高根地域の軽スポーツ大会、ふれあい運動会の運営費を社会教育推進協議会へ補助する。</li> </ul>		
	前回の評価からの改善・改革のポイント			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
①	軽スポーツ交流大会等の開催回数	回	目標値	5	5	5	5
			実績値	4	5	5	5
算出根拠等			達成率(%)	80	100	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
②	高根地区軽スポーツ大会等参加者数	人	目標値	360	360	360	360
			実績値	315	358	360	-
算出根拠等			達成率(%)	88	99	100	-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
①	受益者1件当たり(円)	(A/B)	目標値	811	840	885	889
			実績値	493	476	452	450
算出根拠等			達成率(%)				

  

コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	H21	H22	H23	H24
		決算額	決算見込額	予算額	実施計画額
	歳出(千円)	(A) 400	400	400	400
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)				
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)				
	一般財源	400	400	400	400

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	・芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出のいずれも市長公約に位置づけられ、地域文化の保存と継承を推進する上でも、政策的な重要性は高い。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	・高根地域の少子高齢化が加速する中において、軽スポーツ交流を通じて地域の連携を図ることの必要性は高い。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	A	・地域住民の参加率も高く、市民全体に波及している。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	A	・この事業は住民の意識も高く、参加率も高いことから十分達成している。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	A	・この事業は地域の公民館等において開催される軽スポーツ交流大会等に対して助成されているものであり有効である。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	・事業内容がマンネリ化しているという意見があることから、社教と調整しながら事業内容を見直す必要がある。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	B	・コスト面では限られた予算において実施されている。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	A	・この事業は適正である。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	A	・参加率が高いことから適正である。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	18.0 / 20.0	100点換算	90 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この事業は、高根の住民の心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、住民の参加率も高く、高根の住民が集う場所でもあるので引き続き継続する。</li> </ul>				

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	○ 縮小	廃止の検討	完了
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の自主的な活動とすべく、負担金の段階的な引き下げを行う必要がある。</li> <li>・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。</li> </ul>				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	400	400	0	400	400
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	400	400	0	400	400

予算要求の概要	地域スポーツ大会の開催に対する助成
要求額増減理由	
①支所	<ul style="list-style-type: none"> <li>軽スポーツの交流により地域の連帯を深め、住民の健康・体力の向上維持、生き甲斐づくりを進めていくことが必要とされることから、事業の充実を図るためにも補助金の交付が必要である。ただし、地域振興特別予算を充当しており、H27年以降の方針について検討が必要。</li> </ul>
②本庁所管課(スポーツ振興課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。現在、一般予算の中で地域におけるスポーツ教室の開催方法やスポーツイベントのあり方等について検討しているところであり、当面、当該事業を継続する中で、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。</li> </ul>
地域政策課	
同上	

財務部査定の考え方	要求どおり
市長査定の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	20999	地域おこし協力員活用事業	担当課	高根支所 地域振興課	内線	3710
予算	会計	1 一般会計	特別予算の位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	2 総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1 総務管理費		O	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	9 企画費		D	その他事業	
市長の約束	合併のメリットを活かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします ・地域の個性あるまちづくりと、地域の一体感を創るため、地域が手を取り合って取り組む活動に支援します。					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	受益者数	452 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	農山村地域の活性化に意欲ある都市住民が、地域で活動する団体と協働して地域おこし活動に従事し、外部からの視点を活かした地域資源の活用や地域振興策を提案、実施することで地域の活性化を図り、地域力の維持、強化に資する。		
概要	事業の実施手法(手段)	農山村地域の活性化に意欲ある都市市民(若者)を「地域おこし協力員」として委嘱し、NPO法人ワイアイケーなど地域で活動する団体と協働して地域おこし活動に従事する。		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
①	地域おこし協力員の人数	人	目標値	0	1	1	1
			実績値	0	1	1	-
算出根拠等			達成率(%)		100	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
①	地域おこし協力員の活動延べ日数	日	目標値	0	222	222	222
			実績値	0	222	222	-
算出根拠等			達成率(%)		100	100	-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
①	地域おこし協力員の活動延べ日数	日	目標値				
			実績値				-
算出根拠等			達成率(%)				-
事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)				H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額
歳出(千円)(A)				0	1,963	3,500	3,329
受益者負担(使用料・負担金等)							
その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
一般財源				1,963		3,500	3,329
指標名				H21	H22	H23見込	H24計画
①	受益者1件当たり(円)(A/B)	(A/B)	目標値				
			実績値		4,124	7,743	7,398
②	受益者 高根地域人口(B)	(B)	目標値				
			実績値		476	452	450
算出根拠等							

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	A	・地元NPO法人と協働し、外部からの視点を活かして新たな観光資源を発掘、活用する活動を行っている。
	B(1) 一部結びつく		
	C(0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	A	・火畑そばを広めるための収穫祭の実施や石仏巡りツアーの実施など活動は充実してきている。
	B(1) ある程度のニーズがある		
	C(0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	A	・特産品の開発など、地域の活性化を図ることにより、全体の地域力の増進に寄与している。
	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	A	・年間を通して活動しており、十分に達成している。
	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	A	・地元NPO法人と市外の若者が協働し、外部からの視点を活かして新たな観光資源を発掘、活用する活動は有効である。
	B(1) 概ね有効である		
	C(0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	B	・地元NPO法人と協議しながら事業に取り組み工夫して取り組んでいる。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	B	・生活必需品の支給は必要最小限にし、住宅の賃借料を引き下げるなどコスト削減を図っている。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	B	コストは概ね適正である。
	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	A	・1人分の人件費が伴う事業であり、コストは適正である。
	B(2) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
合計	17.0 / 20.0	100点換算	85 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	地元の地域おこし団体が積極的に多くの活動をしており、もうしばらくの間、展開中の事業などの成果が出るまで継続したい。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	地元の地域おこし団体が積極的に多くの活動をしており、もうしばらくの間、展開中の事業などの成果が出るまで継続したい。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	3,500	3,329	△171	3,300	3,300
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	3,500	3,329	△171	3,300	3,300

予算要求の概要	地域おこし協力員の活動にかかる経費
要求額増減理由	事業の見直しによる
①支所	地域振興活動を積極的に行っている地元NPO法人ワイアイケーと協働して地域力向上を目指すもので、平成24年度が最終年である。平成25年以降のNPO法人の活動を考慮した外部からの視点や課題の整理等が必要である。
②本庁所管課(地域政策課)	事業最終年度のため、これまでの成果の取りまとめ及び検証と、成果の次年度以降の取り組みにつなげる必要がある。
地域政策課	

財務部査定の考え方	他支所地域おこし協力員と統一
市長査定の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	20999	地域再発見事業	担当課	高根支所 地域振興課	内線	3710
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	2 総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1 総務管理費		O	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	9 企画費		D	その他事業	
市長の約束						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	受益者数	452 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・地域力向上のため、地域の魅力の発見、地域資源の発掘を行う		
概要	事業の実施手法(手段)	・地域食材再発見事業 タカネコーン、ほうれん草、火焔そばなど特産品の商品化、販路を検討する。 ・標高看板表示製作事業 各町内の位置、観光ポイント等の標高を表示し、地域内を訪れる観光客等に紹介し、地域のPRにつなげる。また、既存の看板等の見直しを行う。		
	前回の評価からの改善・改革のポイント			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等			目標値 実績値			
		達成率(%)						-
成果面	②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等		目標値 実績値				
		達成率(%)						-
成果指標	①	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等		目標値 実績値				
		達成率(%)						-
コスト面	②	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
		算出根拠等		目標値 実績値				
		達成率(%)						-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)				H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)				0	329	1,000	1,000
コスト面	受益者負担(使用料・負担金等)							
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
コスト面	一般財源				0	329	1,000	1,000
	指標名				H21	H22	H23見込	H24計画
コスト面	①	受益者1件当たり(円)(A/B)		0	691	2,212	2,222	
		受益者 高根支所地域全住民 (B)		493	476	452	450	
コスト面	②	算出根拠等						

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	・地域の個性ある帯域づくりを推進する上で重要な政策である。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	・高根地域の少子高齢化が加速する中において、地域力向上のため地域の魅力の再発見、地域資源の発掘を図ることの必要性は高い。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	A	・高根地域住民はもとより、地域を訪れる観光客等へのイメージアップにも波及効果がある。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	C	・あまり順調でない
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	C	・見直しが必要である。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	C	・地域審議会へ変更内容を協議する。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	B	・事業内容を見直しする。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	B	・受益者が少ないため一律とはいえない。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	B	・事業内容は概ね適正である。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計		10.0 / 20.0	100点換算 → 50 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・平成25年度以降、具体的に実行できる項目を整理する。実行にあたって必要な予算についても整理する。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・成果の有効活用について検討する必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	1,000	1,000	0	1,000	1,000
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	1,000	1,000	0	1,000	1,000

予算要求の概要	案内看板等サインの統一にかかる経費 柳ヶ瀬商店街に高根の特産品を販売する店舗を発掘する経費
要求額増減理由	

①支所	再発見、発掘した資源活用を図っていく必要がある。
②本庁所管課(地域政策課)	事業最終年度のため成果を検証したうえで、次年度以降も成果が生かされるためのしくみづくりが必要である。
地域政策課	

財務部査定の考え方	要求どおり
市長査定の考え方	財務部調整どおり



# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	51399	生活環境保全対策事業	担当課	高根支所 基盤産業課	内線	3741
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	5 農林水産業費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1 農業費		O	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	3 農業振興費		D	その他事業	
市長の約束	3	産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。 ・有害鳥獣対策が緊急の課題であるため、駆除と防衛事業を強化し、活用方策について具体的に取り組みます。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根地域の農家	受益者数	33 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	有害鳥獣による被害を防止するため、集落の周囲に進入防止柵を設置し、安心して暮らせる地域づくりを目指す。		
概要	事業の実施手法(手段)			
前回の評価からの改善・改革のポイント				

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 施工延長	算出根拠等	補助金交付申請書	達成率(%)	9	38	61	-
			達成率(%)	9	38	61	-
②	算出根拠等	補助金交付申請書	達成率(%)				-
			達成率(%)				-
① 事業実施箇所数	算出根拠等	補助金交付申請書	達成率(%)	100	100	100	-
			達成率(%)	100	100	100	-
②	算出根拠等	補助金交付申請書	達成率(%)				-
			達成率(%)				-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)			(A) 7,982	7,968	7,000	8,500
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
	一般財源			7,982	7,968	7,000	8,500
コスト指標	指標名			H21	H22	H23見込	H24計画
	①	受益者1件当たり(円)	(A/B)	199,550	93,741	82,353	212,500
		受益者	地域農家戸数	(B)	40	85	85
	② 施工延長	1mあたり(円)		3,237	979	1,080	1,000
算出根拠等	事業費/施工延長						

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など	
	A(2)	B(1)			C(0)
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	市長の約束にもある有害鳥獣の進入防止施策である。	
	B(1)	一部結びつく			
	C(0)	結びつかない			
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	A	未だ防止柵等を設置していない地域にあっては、有害鳥獣による被害があり、駆除または侵入防止柵等の設置希望が多い。	
	B(1)	ある程度のニーズがある			
	C(0)	少ない、減少している			
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	A	地域農家全市民に効果が及び、地域特産品等の生産・販売による効果は大である。	
	B(1)	概ね市民全体におよぶ			
	C(0)	わずかな受益者に限定される			
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	補助希望のある地域から順次実施している。	
	B(1)	概ね達成している (75%以上)			
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)			
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	A	各町内会単位で調整の上実施しており、目的は達成されている。	
	B(1)	概ね有効である			
	C(0)	見直しが必要である			
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	A	各町内会でまとまったところから実施している。高齢化、少数地区などにより、地元負担が過重となっている地区もある。	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	A	コスト削減のため複数の業者より見積書を徴収の上実施するよう依頼している。	
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	B	地区ごとの受益者数が少ないため、一律とはいかない。	
	B(1)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	B	施工延長等から適正と考える。	
	B(2)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
合計		17.0 / 20.0	100点換算		85 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	平成24年度は、2地区で実施予定。(阿多野郷地区、小日和田地区) 平成25年度(中之宿地区、池ヶ洞地区)で終了予定。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・鳥獣被害は深刻な問題であり、早急に対応する必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	7,000	8,500	1,500	7,000	7,000
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	7,000	8,500	1,500	7,000	7,000

予算要求の概要	有害鳥獣侵入防止柵等の設置に対する助成
要求額増減理由	事業量の増による
①支所	イノシシ等による畑作被害を防止するため、防護柵の設置をするものであるが、市道等には設置できないため、別の対策が必要となる。また、猿被害の防止は別途検討する必要がある。
②本庁所管課(農務課)	
事業実施の課題	国庫事業「鳥獣被害防止総合対策事業」においての実施も検討する必要がある。
地域政策課	
	鳥獣害は全体的な問題のため、市全体の取組方針のもとで対応することが必要である。

財務部査定の考え方	積算内容を精査し前年並み事業費とする
市長査定の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	62399	観光施設環境整備事業	担当課	高根支所 地域振興課	内線	3710
予算	会計	1 一般会計	特別予算の位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	6 商工観光費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2 観光費		○ C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	2 観光施設費		D	その他事業	
市長の約束	1	積極的な観光振興策を実施します。 ◎最新の媒体を駆使し、多様な誘客を行います。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	受益者数	452 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	老朽化した湯元山荘を撤去し、景観と安全を確保する。		
概要	事業の実施手法(手段)	老朽化した湯元山荘を撤去する。		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
① 湯元山荘撤去	棟		目標値				1
			実績値				-
算出根拠等			達成率(%)				-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
②			目標値				-
			実績値				-
算出根拠等			達成率(%)				-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
① 露天風呂案内人数	人		目標値				50
			実績値				-
算出根拠等			達成率(%)				-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
②			目標値				-
			実績値				-
算出根拠等			達成率(%)				-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)			(A) 0	0	0	4,423
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
コスト面	一般財源			0	0	0	4,423
	指標名			H21	H22	H23見込	H24計画
	①	受益者1件当たり(円)	(A/B)				9,785
		受益者	高根地域人口	(B)			452
算出根拠等							

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	B	・秘湯として利用者が少ない状況であるが、紅葉などの風景も素晴らしく誘客のポイントとなる。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	B	・地域住民からは、景観面だけでなく、安全面からも撤去要望がある。
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	C	・わずかな受益者に限定されるが、地域への波及効果がある。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	評価対象外	平成24年度新規事業
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	評価対象外	平成24年度新規事業
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	評価対象外	平成24年度新規事業
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	評価対象外	平成24年度新規事業
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	評価対象外	平成24年度新規事業
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	評価対象外	平成24年度新規事業
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		2.0 / 6.0	100点換算	33 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	・秘湯として、インターネットなどから情報を得た利用者が露天風呂を利用している。秘湯のイメージを保つため、新たな施設整備は行わない。				

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	0	4,423	4,423	4,500	4,500
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	0	4,423	4,423	4,500	4,500

予算要求の概要	施設解体工事費
要求額増減理由	新規事業のため
①支所	
	露天風呂に入るための橋が老朽化しており修繕が必要となっている。
②本庁所管課(観光課)	
	露天風呂が地域振興に寄与するか検証し、結果によっては橋も撤去する必要がある。
地域政策課	
	高根地域の活性化を進める中で、本施設の位置づけを明確にしたうえで活用方針を定めることが必要である。

財務部査定の考え方	要求どおり
市長査定の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	20899	地域財産管理事業	担当課	高根支所 地域振興課	内線	3710
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	2 総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1 総務管理費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	8 財産管理費		O	その他事業	
市長の約束						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	受益者数	452 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・市有地の適正管理		
概要	事業の実施手法(手段)	市有地を含めた子ノ原高原の土地、道路等の適正な維持管理		
	前回の評価からの改善・改革のポイント			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 財産管理面積			坪	目標値	2,800	2,800	2,800
			実績値	2,800	2,800	2,800	2,800	
算出根拠等				達成率(%)	100	100	100	-
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値				
②				実績値				-
				達成率(%)				-
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値				
① 当該財産の見回り点検			日	実績値	7	7	7	7
				達成率(%)	100	100	100	-
算出根拠等				達成率(%)				-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)		(A)	77	77	80	80	
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)							
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
一般財源			77	77	80	80		
コスト指標	指標名			H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 受益者1件当たり(円)		(A/B)	156	162	177	178	
② 受益者		高根支所地域全住民 (B)		493	476	452	450	
算出根拠等								

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	C	・総合計画等に掲げる事業ではない。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	C	・財産を所有している限りは適正な管理が必要である。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	B	・市有地の適正な管理は、市の財産を守る上からも全市民への市有地の適正な管理についての地域を訪れる観光客等へのイメージアップにも波及効果がある。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	B	・適正に管理されている。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	B	・適正に管理されている。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	C	・現在のところ利用目的がない。財産の活用方法を模索しつつ、処分について検討していく。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	C	・財産を所有している限りは負担が必要である。今後、有効活用が図られなければ、処分について検討していく。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	B	
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	B	
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	6.0 / 20.0	100点換算 → 30 / 100	

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・財産を所有している限りは負担が必要である。使用目的がないため、売却することが望ましい。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・未利用施設の有効活用を図る一方で、不要施設については、解体・売却等の処分を進めるなど、統一的な考え方のもとで課題解決していく必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	77	77	0	77	77
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	77	77	0	77	77

予算要求の概要	子ノ原高原の市有地管理にかかる負担金
要求額増減理由	
①支所	
売却処分	
②本庁所管課(管財課)	
市有地の有効活用(売却含む)を進める必要がある。	
地域政策課	
同上	

財務部査定の考え方	要求どおり
市長査定の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	31399	地域老人福祉推進事業費 (冬季高齢者住宅開設事業)	担当課	高根支所 地域振興課	内線	3710
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	3 民生費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1 社会福祉費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	3 老人福祉費		O	D その他事業	
市長の約束	5	医療福祉を充実させます ・在宅介護支援を含め、高齢者集合住宅の拡充施策に取り組みます。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	受益者数	452 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・空き施設の有効利用と高齢者が安心して暮らせる地域づくりをめざすことを目的とする。		
概要	事業の実施手法(手段)	・冬季高齢者住宅開設 開設期間 12月～翌3月 事業主体 高山市社会福祉協議会 旧学校教員住宅を使用 施設利用に伴う施設改修、維持管理費		
	前回の評価からの改善・改革のポイント			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
①	冬季高齢者集合住宅開設月数	月	目標値	4	4	4	4
			実績値	4	4	4	4
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
①	施設利用者数	人	目標値	17	17	17	17
			実績値	15	14	15	-
算出根拠等			達成率(%)	88	82	88	-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
①	受益者1件当たり (円)	(A/B)	目標値	90,067	197,857	328,667	156,250
			実績値	15	14	15	16
算出根拠等			達成率(%)				

  

コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)	H21	H22	H23	H24
		決算額	決算見込額	予算額	実施計画額
	歳出 (千円) (A)	1,351	2,770	4,930	2,500
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)				
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)		1,100		
	一般財源	1,351	1,670	4,930	2,580

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準			評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)	C(0)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく		A	・地域医療福祉を充実させることの政策的な重要性は高い。
	B(1)	一部結びつく			
	C(0)	結びつかない			
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している		A	・冬季生活の安定を望む高齢者のニーズは高い
	B(1)	ある程度のニーズがある			
	C(0)	少ない、減少している			
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ		C	・のくとい館利用者に限定される。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ			
	C(0)	わずかな受益者に限定される			
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)		A	・12月から翌3月まで安定して開設している。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)			
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)			
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である		A	・遊休市有施設の再利用により地域福祉医療の充実と地域活性化を図ることの有効性は高い。
	B(1)	概ね有効である			
	C(0)	見直しが必要である			
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている		B	・地域審議会からも施設のバリアフリー化を求める意見があったことから、既存施設のバリアフリー化を進めている。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている		B	・事業内容を精査しながら改善、工夫に取り組んでいる。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる			
	C(0)	対応していない			
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である		A	・事業の目的を考えると適正である。
	B(1)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である		B	・事業内容は適正である。
	B(2)	概ね適正である			
	C(0)	改善が必要である			
合計				14.0 / 20.0	100点換算 → 70 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・特に冬季間閉鎖的となる高齢者に「集団生活」による安心感を提供し、地域の高齢者への支援策として重要な事業であることから、特別予算終了後も事業の継続を希望する。また、冬季以外の活用についても検討する。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・高根地域において高齢者への支援策として重要な事業であるが、旧職員住宅の冬季以外の有効活用を検討する必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	4,930	2,580	△2,350	2,530	2,530
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	4,930	2,580	△2,350	2,530	2,530

予算要求の概要	運営にかかる経費
要求額増減理由	修繕工事が終了したため。
①支所	高齢者の冬季生活の安定、健康維持のため、また、空き施設の有効利用策として今後も内容の充実を図る。平成24年度において運営補助金のあり方について検討する。
②本庁所管課(高年介護課)	高根地域等における高齢者の冬季生活の安定や健康保持のため、自主運営ができるよう、市の施設を無償で貸与し、引き続き支援する。
地域政策課	冬季利用だけでなく、その他の季節の有効活用の検討や入居者の負担割合等、他の地域に波及するようなモデルとしてのしくみづくりが必要である。

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	42299	食用廃油回収事業		担当課	高根支所 地域振興課		内線	3710
予算	会計	1	一般会計	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事		
	款	4	衛生費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業		
	項	2	清掃費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業		
	目	2	塵芥処理費		O	D その他事業		
市長の約束	8	豊かな自然を守り、環境モデル都市をつくります。 ・地球温暖化の対策、生物多様性の保全活用など、環境保全は今を生活している全ての人々が取り組まなければならない重要な問題であるため、バイオマスの利活用や間伐材・林地残材製品の開発など、環境改善につながる取り組みを支援します。						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	受益者数	452 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・使用済み食用油を回収、精製処理し、リサイクル燃料として使用することにより、市民のリサイクル意識の向上を図るとともに、地域温暖化対策を推進する。		
概要	事業の実施手法(手段)	・一般家庭より排出される食用廃油を、月1回4箇所の資源ごみ拠点集積所で回収する。 ・回収した食用廃油は、朝日支所の処理施設で精製し、公用車の燃料(BDF)として活用する。		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
				目標値	実績値			
① 食用廃油回収箇所	算出根拠等	箇所	目標値	4	4	4	4	
			実績値	4	4	4	4	
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	-	
	算出根拠等		達成率(%)					
②	算出根拠等	箇所	目標値					
			実績値					
	算出根拠等		達成率(%)					
	算出根拠等		達成率(%)					
① 食用廃油回収量	算出根拠等	t	目標値	100	100	100	100	
			実績値	98	96	100	-	
	算出根拠等		達成率(%)	98	96	100	-	
	算出根拠等		達成率(%)					
②	算出根拠等	t	目標値					
			実績値					
	算出根拠等		達成率(%)					
	算出根拠等		達成率(%)					
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)			(A) 41	36	60	48	
	受益者負担(使用料・負担金等)							
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
	一般財源			41	36	60	48	
コスト指標	指標名			H21	H22	H23見込	H24計画	
	①	受益者1件当たり(円)	(A/B)	83	76	133	107	
		受益者	高根支所地域全住民 (B)	493	476	452	450	
	②							
		算出根拠等						

## 3 分析・評価(Check)

必要性	評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など		
		A(2)	B(1)				
①	事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	B	・地球温暖化対策、環境対策につながることから政策的な重要性は高い。		
		B(1)	一部結びつく				
		C(0)	結びつかない				
②	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	B	・住民のリサイクル意識、再資源化に向けたニーズがある。		
		B(1)	ある程度のニーズがある				
		C(0)	少ない、減少している				
③	事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	B	・リサイクル意識の向上や環境保全に対する意識の向上と地球温暖化防止対策に貢献することから全的に波及効果がある。		
		B(1)	概ね市民全体におよぶ				
		C(0)	わずかな受益者に限定される				
④	事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	・住民の意識も高く、回収率も高いことから十分達成している。		
		B(1)	概ね達成している (75%以上)				
		C(0)	あまり順調でない (75%未満)				
⑤	成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	A			
		B(1)	概ね有効である				
		C(0)	見直しが必要である				
⑥	事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B			
		B(1)	改善・工夫に取り組んでいる				
		C(0)	対応していない				
⑦	コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B			
		B(1)	改善・工夫に取り組んでいる				
		C(0)	対応していない				
⑧	受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	B	・受益者少ないため一律とはいえない。		
		B(1)	概ね適正である				
		C(0)	改善が必要である				
⑨	成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	B	・事業実施内容から概ね適正である。		
		B(2)	概ね適正である				
		C(0)	改善が必要である				
合計		12.0 / 20.0		100点換算		60 / 100	

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・環境に対する効果を検証する必要がある。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・コスト面を考慮に入れ、全体的な取り組みの実施について検討する必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23 当初	H24 要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	60	48	△12	50	50
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	60	48	△12	50	50

予算要求の概要	一般家庭より排出される食用油の回収・精製にかかる経費
要求額増減理由	BDF対象車両の減少による
①支所	住民のリサイクル意識の向上のために継続する要望がある。
②本庁所管課(生活環境課)	・市が精製したBDFは、公用車で使用となるが、岐阜県では不正軽油取締りの観点から軽油への混合は認められておらず、現状では安定した需要が見込めない。 ・精製機械の耐用年数を勘案の上、当該サイクル事業の継続についての検討が必要。 ・民間による回収ルート、資源化ルートが確立されつつあり、リサイクルという観点から見れば、回収量の増大等について多面的な検討が必要。
地域政策課	
地球温暖化対策は様々な取組みが可能なため、将来性を含め事業を今後も推進すべきかどうかの検証が必要である。	

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	51399	ワークキャンプ活用事業	担当課	高根支所 基盤産業課	内線	3742
予算	会計	1 一般会計	特別予算の位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	5 農林水産業費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1 農業費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	3 農業振興費		○ D	その他事業	
市長の約束	3	産業の柱としての農業、林業、畜産業を確立します。 ・飛騨高山のブランドにふさわしい生産者の顔が見える安全で安心な付加価値の高い産地産品づくりに取り組みます。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	タカネコーン生産組合	受益者数	30 戸
	どういった状態にしたいのか(意図)	タカネコーン生産組合が主催する「タカネコーン収穫祭」のスタッフとしてNPO法人NICEから受け入れし、人手不足の解消とブランド化の推進に資する。		
概要	事業の実施手法(手段)	NPO法人NICEへの負担金		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① NPO法人NICEへの負担金			千円	目標値	182	100	100
			実績値	182	98	55	-	
算出根拠等	決算額			達成率(%)	100	98	55	-
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②				目標値			
			実績値				-	
算出根拠等				達成率(%)				-
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① タカネコーン販売額			千円	目標値	5,400	5,200	5,200
			実績値	5,400	5,200	5,200	-	
算出根拠等	タカネコーン生産組合決算			達成率(%)	100	100	100	-
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	② タカネコーン販売数			千本	目標値	23	22	22
			実績値	23	22	22	-	
算出根拠等	タカネコーン生産組合決算			達成率(%)	100	100	100	-
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)		(A)	182	98	100	100	
コスト面	受益者負担(使用料・負担金等)							
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
コスト面	一般財源			182	98	100	100	
	指標名			H21	H22	H23見込	H24計画	
①	受益者1件当たり(円)	(A/B)	6,067	3,267	4,000	3,333		
	受益者	生産組合構成農家数 (B)	30	30	25	30		
②	タカネコーン1本あたり(円)		8.3	4.4	4.5	4.5		
算出根拠等	NPO法人NICEへの負担金/タカネコーン販売数							

## 3 分析・評価(Check)

必要性	評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など		
		A(2)	B(1)				
①	事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	標高の高さを生かし栽培される糖度の高いタカネコーンは、市長公約の「飛騨高山のブランドにふさわしい、付加価値の高い産地産品づくりに取り組みます」に該当。		
		B(1)	一部結びつく				
		C(0)	結びつかない				
②	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	A	地域の高齢化により、収穫祭のスタッフを確保するのが困難な状況にあり、生産組合からの要望が強い。		
		B(1)	ある程度のニーズがある				
		C(0)	少ない、減少している				
③	事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	C	生産組合(構成する農家)に限定。		
		B(1)	概ね市民全体におよぶ				
		C(0)	わずかな受益者に限定される				
④	事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	生産組合を構成する農家が高齢化している中で、概ね前年度と同等の販売額、販売数量を維持してきている。		
		B(1)	概ね達成している (75%以上)				
		C(0)	あまり順調でない (75%未満)				
⑤	成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	B	労働力の確保と都市と農村の交流目的のため、平成12年度から継続してきた事業で、地域外から若者が高根を訪れ交流を行うことに一定の効果はある。		
		B(1)	概ね有効である				
		C(0)	見直しが必要である				
⑥	事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	A	特になし。		
		B(1)	改善・工夫に取り組んでいる				
		C(0)	対応していない				
⑦	コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	生産組合とNICEとの交流がこれまで継続している中で、コスト削減のために他のボランティアの受入等については慎重に検討する必要がある。必要最小限の経費で、組合でも食材等負担している。		
		B(1)	改善・工夫に取り組んでいる				
		C(0)	対応していない				
⑧	受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	B	概ね適正と考える。		
		B(1)	概ね適正である				
		C(0)	改善が必要である				
⑨	成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	B	概ね適正と考える。		
		B(2)	概ね適正である				
		C(0)	改善が必要である				
合計		13.0 / 20.0		100点換算		65 / 100	

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	○	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	地域の代表的な農産物であるタカネコーンのブランド力を維持していくため今後も継続していく。					

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	○	縮小	廃止の検討	完了
	・スタッフの確保に対する負担金支出であることから、別の方策を考える必要がある。					

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	100	100	0	100	100
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	100	100	0	100	100

予算要求の概要	収穫祭に係る経費(宿泊費、食事等)の負担金
要求額増減理由	

①支所	若者の受入、交流強化のため地域振興特別予算終了後も継続してほしいとの要望がある。
②本庁所管課(農務課)	消費者が生産現場を訪れ交流することは、「地域で生産された農産物を地域で消費する活動を通じて農業者と消費者を結び付ける活動」であり、地産地消に結びつくことと考える。
地域政策課	タカネコーンをブランドとして定着させることは重要であるが、そのPR方法については、地元負担を要しないものとして創意工夫する必要がある。

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	62199	野麦峠における交流促進事業	担当課	高根支所 地域振興課	内線	3710
予算	会計	1 一般会計	特別 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	6 商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2 観光費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	1 観光振興費		O	D その他事業	
市長の約束	1	積極的な観光振興策を実施します ◎最新の媒体を駆使し、多様な誘客を行います。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	受益者数	452 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	・女工哀史で全国的に知られる野麦峠を中心とした観光PRにより観光客の増加を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	・野麦峠まつり ・映画「あゝ野麦峠」上映会 ・柳ヶ瀬物産展 ・野麦峠トレイルラン 上記イベントを通じて野麦峠PR事業を実施する飛騨高根観光協会に対し経費の一部を負担する。		
概要	前回の評価からの改善・改革のポイント			

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① イベント回数	回	算出根拠等	目標値	2	2	4	4
			実績値	2	2	4	-
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 野麦峠年間入込客数	人	算出根拠等	目標値	25,000	25,000	25,000	30,000
			実績値	26,991	23,376	25,000	-
算出根拠等			達成率(%)	108	94	100	-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 受益者1件当たり(円)	(A/B)	算出根拠等	目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)	歳出(千円)	(A)	H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額
				0	863	300	400
コスト面	受益者負担(使用料・負担金等)	その他特定財源(国・県支出金・起債等)	一般財源	0	863	300	400
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 受益者1件当たり(円)	(A/B)	算出根拠等	目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	・野麦峠は全国的に知名度が高く、高根地域の主要な観光ポイントの一つである。また、高山市街地への誘客効果も期待できるため、観光客の増加を図るために有効な事業である。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	・23年度は「あゝ野麦峠」映画上映会や野麦峠トレイルランを初開するなど、事業数も増加し、地域が一体となって事業を実施した。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	B	・地域には観光関連産業が多く、地域全体への経済の波及効果が見込まれる。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	A	・その年の状況によって入り込みは増減しているが概ね達成している。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	A	・高根地域の主要な観光ポイントを地域が一体となって盛り上げており、有効である。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	A	・地域の観光協会が中心となり、コストを削減して取り組んでいる。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	A	・地域住民の他、観光客などの入込客への受益を考慮すると、コストは適正である。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	A	・限られた経費の中で、改善・工夫に取り組んでおり、コストは適正である。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計		18.0 / 20.0	100点換算 → 90 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	野麦峠は、高根地域の主要な観光ポイントであると同時に、高山市街地への誘客効果も期待できるため、観光客の増加を図るために有効な事業である。地域全体の機運もあがっており、今後もトレイルランなどを含めた関連事業を引き続き行っていく必要がある。 平成27年度以降、市の助成なしでやっていけるよう、飛騨高根観光協会へ引き継いでいく。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・民間(観光関係団体等)主体への移行について検討する必要がある。 ・特例期間終了を見据え、地域への波及効果などの分析を行いつつ、行政の関与を段階的に縮小していく必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	300	400	100	300	300
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	300	400	100	300	300

予算要求の概要	イベント開催負担金
要求額増減理由	イベントの拡充に伴う増
①支所	平成27年度以降、市の助成なしでやっていけるよう、飛騨高根観光協会へ引き継いでいく必要がある。
②本庁所管課(観光課)	自主的に持続可能な事業となるよう運営主体の強化を図る必要がある。
地域政策課	
事業者が自主的に運営可能となるような仕組みづくりが必要である。	

財務部査定の考え方	積算内容を精査し前年並み事業費とする
市長査定の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	62399	地域観光施設事業	担当課	高根支所 地域振興課	内線	3710
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	6 商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2 観光費		○ C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	2 観光施設費		D	その他事業	
市長の約束	1	積極的な観光振興策を実施します ◎最新の媒体を駆使し、多様な誘客を行います。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	受益者数	452 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	・野麦峠の観光施設について、特に危険性のある個所や利用者からの不満が多い個所について改善していくことで、観光客の満足度をアップさせ、誘客に結び付ける。		
概要	事業の実施手法(手段)	・野麦峠の観光施設について、危険個所・利用者からの不満が多い個所について修繕、改修する。		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画		
				目標値	実績値				
① 修繕個所	算出根拠等	個所	目標値				2		
			実績値				-		
算出根拠等			達成率(%)				-		
成果面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画		
				目標値	実績値				
① 野麦峠年間入込客数	算出根拠等	千人	目標値	25,000	25,000	25,000	30,000		
			実績値	26,991	23,376	25,000	-		
算出根拠等			達成率(%)	108	94	100	-		
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画		
				目標値	実績値				
②	算出根拠等		目標値						
			実績値						
算出根拠等			達成率(%)						
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額		
	歳出(千円)(A)			0	0	0	1,351		
	受益者負担(使用料・負担金等)								
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)								
	一般財源			0	0	0	1,351		
コスト指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画		
				① 受益者1件当たり(円)(A/B)	目標値				45
					実績値				
				② 受益者 野麦峠年間入込客数 (B)	目標値				
実績値	26,991	23,376	25,000		30,000				
算出根拠等									

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	B	・野麦峠は全国的に知名度が高く、高根地域の主要な観光ポイントの一つである。また、高山市街地への誘客効果も期待できるため、観光客の増加を図るために有効な事業である。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	B	・23年度は「あゝ野麦峠」映画上映会や野麦峠トレイルランを初開催するなど、地域が一体となって事業を実施した。野麦峠を中心に地域を盛り上げていく機運も高まり施設修繕への市民のニーズは急増している。
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	B	・地域には観光関連産業が多く、地域全体への経済の波及効果が見込まれる。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	評価対象外	平成24年度新規事業
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	評価対象外	平成24年度新規事業
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	評価対象外	平成24年度新規事業
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	評価対象外	平成24年度新規事業
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	評価対象外	平成24年度新規事業
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	評価対象外	平成24年度新規事業
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		3.0 / 6.0	100点換算	50 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了
	23年度は「あゝ野麦峠」映画上映会や野麦峠トレイルランを初開催するなど、地域が一体となって事業を実施した。野麦峠を中心に地域を盛り上げていく機運も高まり施設修繕への市民のニーズは急増している。野麦峠は、高根地域の主要な観光ポイントであると同時に、高山市街地への誘客効果も期待できるため、特に必要と認められる修繕等を実施する。				

総合評価(二次評価)	維持・改善	拡大	縮小	廃止の検討	完了

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	0	1,351	1,351	1,300	1,300
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	0	1,351	1,351	1,300	1,300

予算要求の概要	施設修繕費
要求額増減理由	新規事業のため
①支所	特に緊急性、必要性のあるものについて実施していく。
②本庁所管課(観光課)	施設整備に合わせて、施設利用者の増を図る必要がある。
地域政策課	
施設整備だけでなく、誘客につながるPR等総合的に取り組む必要がある。	

財務部査定の考え方	要求どおり
市長査定の考え方	財務部調整どおり



# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	62499	地域自然公園等管理事業	担当課	高根支所 基盤産業課	内線	3742
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	6 商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2 観光費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	3 自然公園費		○ D	その他事業	
市長の約束	1	積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	登山客	受益者数	未確定
	どういう状態にしたいのか(意図)	乗鞍登山道(子ノ原及び阿多野郷ルート)及び御岳登山道の草刈等整備を実施し、登山道を地域資源として活用し、地域の活性化を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	シルバー人材センターへの委託。		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
① 草刈等実施の延長	km	目標値				8	10
		実績値				8	
算出根拠等	仕様書	達成率(%)			100	-	
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
① 登山道利用者数	人	目標値				20	30
		実績値				20	-
算出根拠等	実績	達成率(%)			100	-	
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値		
②		目標値					-
		実績値					-
算出根拠等		達成率(%)				-	
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額
	歳出(千円)(A)					448	600
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
コスト面	一般財源					448	600
	指標名			H21	H22	H23見込	H24計画
①	受益者1件当たり(円)(A/B)					22,400	20,000
	受益者 登山道利用者数 (B)					20	30
② 草刈等実施の延長 1mあたり(円)						56	60
算出根拠等	事業費/草刈等実施延長						

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	A	登山道を地域資源として活用することが、市長公約の「自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します」に該当。
	B(1) 一部結びつく		
	C(0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	B	観光振興の点から、また一部登山者から、過去に整備されていた登山道が現在利用できないため、登山道の草刈等について要求がある。
	B(1) ある程度のニーズがある		
	C(0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	B	登山道整備により、広く市民の利用が可能となる。
	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	評価対象外	今年度からの新規事業。
	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	B	草刈等により登山道を整備し登山客が増加することにより、地元への経済効果も期待できる。
	B(1) 概ね有効である		
	C(0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	B	登山道入口付近が私有地であるため、登山客の管理や駐車場の確保について現在検討中。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	B	毎年草刈を行うことにより、次年度以降の委託料は徐々に削減することが可能。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	B	地域の活性化と登山者の利便性向上のためのものであり、適正なコストである。
	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	B	単価契約によりシルバー人材センターに発注しており、概ね適正であると考え。
	B(2) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
合計	10.0 / 18.0	100点換算	56 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	地域振興及び利用者の利便性や安全性の確保の観点から、引き続き次年度以降も継続していく。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	いくつかの地域で登山道整備があるが、今後は有効なもののみを選択していく必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	500	1,000	500	1,000	1,000
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	500	1,000	500	1,000	1,000

予算要求の概要	登山道の草刈、登山者用駐車場案内及び誘導看板製作に係る経費
要求額増減理由	草刈箇所の新規追加 登山者用駐車場案内及び誘導看板の新規設置
①支所	登山道へのスムーズな誘導と登山客のマナー向上を図る必要がある。
②本庁所管課(地域政策課)	地域振興特別予算措置期間終了後を見据えた方針の策定が必要である。
地域政策課	

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	72299	住みよい地域づくり事業	担当課	高根支所 基盤産業課	内線	3741
予算	会計	1 一般会計	特別予算の位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	7 土木費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	2 道路橋りょう費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	2 道路橋りょう維持費		O	D その他事業	
市長の約束	6	市民の生活と生命(いのち)・財産を守ります。 ・支所地域と市街地を結ぶ主要道路の整備や都市計画道路の整備を進めます。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民及び観光客	受益者数	468 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	集落間を結ぶ市道の除草等により、市民及び観光客等の通行の安全確保を図る。		
概要	事業の実施手法(手段)	シルバー人材センターへの委託		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 実施路線数	路線	目標値		3	3	5	5
実績値				3	3	5	5	
算出根拠等	仕様書		達成率(%)	100	100	100	-	
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②		目標値					
実績値								
算出根拠等			達成率(%)				-	
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 実施延長	m	目標値		7,000	7,000	8,500	8,500
実績値				7,000	7,000	8,500	-	
算出根拠等	市道台帳		達成率(%)	100	100	100	-	
コスト面	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	②		目標値					
実績値								
算出根拠等			達成率(%)				-	
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額		
	歳出(千円)(A)		481	229	600	600		
コスト面	受益者負担(使用料・負担金等)							
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
コスト面	一般財源		481	229	600	600		
	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画		
①	受益者1件当たり(円)(A/B)		992	496	1,282	1,282		
	受益者 高根人口(B)		485	462	468	468		
②	施工延長 1mあたり(円)		69	33	71	71		
算出根拠等	事業費/施工延長							

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2) 結びつく	A	住みやすい街づくりの「6 市民の生活と生命のち・財産を守ります」中、「支所地域と市街地を結ぶ主要道路の整備や都市計画道路の整備を進めます。」の推進となる。
	B(1) 一部結びつく		
	C(0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2) 非常に多い、急増している	A	高齢化が進む中、集落間道路まで地域住民ではできなくなってきたため、要請がある。
	B(1) ある程度のニーズがある		
	C(0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2) 市民全体におよぶ	B	市民にとって重要な路線であり、市道の整備は欠くことができない。
	B(1) 概ね市民全体におよぶ		
	C(0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2) 十分に達成している (100%以上)	A	予定された箇所については、実施されたいるが、高齢化とともに今後集落内の整備についても検討していく必要がある。
	B(1) 概ね達成している (75%以上)		
	C(0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2) 有効である	A	市民及び観光客等の通行の安全確保が図られている。
	B(1) 概ね有効である		
	C(0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2) 課題はない・解消されている	B	狭小な路線の除草等は、高齢者ドライバーの交通事故防止からも必要不可欠であり、平成23年度からはさらに除草箇所を増やし、安全確保と景観保全に努めている。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2) 課題はない・解消されている	B	最小の予算で最大の効果が出るよう、事業実施において適正な事業費となるよう、シルバー人材センターと打合せを行うこととした。
	B(1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2) 適正である	A	単価については、シルバー人材センター統一単価である。
	B(1) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4) 適正である	A	シルバー人材センター統一単価により適正である。
	B(2) 概ね適正である		
	C(0) 改善が必要である		
合計	17.0 / 20.0	100点換算	85 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	これまで各地域ごとに草刈等してきたが、高齢化により実施が難しい地域が増加してきており、今後益々シルバー人材センター等への依存が高くなることが予測される。このため、これら需要に応え安全安心な生活道路を確保するため、引き続き継続していく必要がある。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・地域の景観、環境を保全するため実施しているが、合併特例期間終了後は、全市的に実施路線を検討する必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	600	600	0	600	600
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	600	600	0	600	600

予算要求の概要	・高根町地内市道の草刈清掃
要求額増減理由	
①支所	過疎化・高齢化により、これまで各地域住民が行ってきた草刈清掃業務が、年々困難となっている。
②本庁所管課(維持課)	地域住民により環境保全(草刈清掃)を行なっていたが、道路延長もあるうえ過疎化や高齢化が進み作業が困難となっている。
地域政策課	
樹木花等の植栽、草刈等地域振興特別予算で措置されている類似事業については、景観保全、安全確保等の視点から全市的な検討、調整が必要である。	

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	95299	地域体育施設維持管理事業	担当課	高根支所 地域振興課	内線	3710
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	9 教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	5 保健体育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	2 体育施設費		O	D その他事業	
市長の約束						

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	受益者数	452 人
目的	どういう状態にしたいのか(意図)	・高地トレーニングエリアの有効活用により、地域活性化を推進する。		
概要	事業の実施手法(手段)	・高地トレーニングエリア内に各種表示看板を設置 ・夜間照明の設置		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 看板の設置	算出根拠等	基	目標値				10	5
実績値							10		
			達成率(%)				100	-	
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
	② 夜間照明の設置	基	目標値				3		
実績値						3	-		
			達成率(%)				100	-	
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 飛騨高山御嶽トレーニングセンター利用者	人	目標値	1,000	1,000	2,000	2,200		
実績値			804	1,474		-			
			達成率(%)	80	147		-		
コスト面	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 受益者1件当たり(円)	(A/B)	目標値				1,925	379	
実績値						2,000	2,200		
			達成率(%)				-		
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額			
	歳出(千円)		(A)			3,850	833		
コスト面	受益者負担(使用料・負担金等)								
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)					3,850	833		
コスト面	一般財源					3,850	833		
	指標名		H21	H22	H23見込	H24計画			
①	受益者1件当たり(円)		(A/B)			1,925	379		
	受益者		飛騨高山御嶽トレーニングセンター利用者 (B)			2,000	2,200		
算出根拠等									

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	・高地トレーニングエリアを活かした交流人口増加による活性化を推進するため政策的に重要である。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	・地域の拠点となる施設を利用した地域住民による地域活性化を目指すためのニーズが高い。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	C	・対象者が高トレ利用者で、一部の高山市域と市外利用者に限定されるため
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	評価対象外	・新規事業
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	A	・飛騨高山御嶽トレーニングセンターを拠点として幅広くPRし、利用促進に努めて集客率を高めることにより地域活性化につなげることは有効である
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	評価対象外	・新規事業
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	B	・必要最小限の発注をしている。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	B	・この事業は概ね適正である。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	B	・この事業は概ね適正である。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計		10.0 / 16.0	100点換算 → 63 / 100

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・維持経費として、夜間電気使用料の対応を行う。 ・地域体育施設を結ぶ公道を走る利用者の安全確保を図る必要がある。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	(担当課評価に同じ)				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	3,850	833	△ 3,017	800	800
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	3,850	833	△ 3,017	800	800

予算要求の概要	安全標識設置費 夜間照明維持管理費
要求額増減理由	夜間照明設置工事費の減
①支所	走路利用者への注意は引き続き、各施設を通じて行なう必要があるが、草刈りについては県に要望していかなければならない。
②本庁所管課(スポーツ振興課)	高地トレーニングエリアを活用した地域活性化事業については、一般予算における高地トレーニング関連事業との関係を整理した上で、連携して取り組む必要がある。
地域政策課	高地トレーニングエリア環境整備にかかる関係機関との調整が必要である。

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	20999	地域振興事業補助金	担当課	高根支所 地域振興課	内線	3710
予算	会計	1 一般会計	特別予算の位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	2 総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1 総務管理費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	9 企画費		O	D その他事業	
市長の約束	「合併のメリットを生かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします。」 ・地域の個性あるまちづくりと、市域の一体感を創るため、地域が手を取り合って取り組む活動に支援します。					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	受益者数	452 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・地域住民の創意と工夫による魅力ある地域づくりを推進するため、市民自らが主体となって取り組む地域振興事業を支援する。		
概要	事業の実施手法(手段)	・地域の住民が自主的・主体的に取り組む公共性の高い地域づくりへの補助		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①	地域振興事業補助金採択件数	件	目標値	14	10	10	10
算出根拠等			実績値	14	10	10		
			達成率(%)	100	100	100	-	-
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①	地域振興事業補助金実績額	千円	目標値	2,100	2,000	2,000	2,000
算出根拠等			実績値	2,099	1,867	2,000	-	
			達成率(%)	100	93	100	-	
コスト面	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	①	受益者1件当たり(円)	(A/B)	目標値	4,258	4,132	4,425	4,444
算出根拠等			実績値	493	476	452	450	
			達成率(%)					

  

コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H21	H22	H23	H24
	歳出(千円)		決算額	決算見込額	予算額	実施計画額
	(A)		2,099	1,967	2,000	2,000
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)					
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
	一般財源		2,099	1,967	2,000	2,000

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	・地域の個性あるまちづくりを推進する上から政策的に重要である。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	A	・地域住民等が創意と工夫による地域づくりを進めるためのニーズが高い。
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	C	・高根地域を限定しているため受益者が限られる。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	・この事業に対する住民の意識も高く、実績割合も高いことから十分に達成している。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	A	・地域住民の創意と工夫による地域づくりを推進するために有効である。
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	・毎年度要望を受けて対応している。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	A	・必要最小限度の補助を行っている。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	A	・各地域住民の負担を軽減する上から適正である。
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	A	・事業内容は概ね適正である。
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		17.0 / 20.0	100点換算 → 85 / 100	

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	将来的に補助できないものについては、その旨を地元へ説明しながら徐々に補助額を減額していく。また内容によっては一般予算化の調整が必要である。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、27年度以降の対応について検討する必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	2,000	2,000	0	2,500	2,500
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	2,000	2,000	0	2,500	2,500

予算要求の概要	地域住民が自主的、主体的に取り組む公共性の高い地域づくり事業に対する助成
要求額増減理由	
①支所	
②本庁所管課(地域政策課)	
地域政策課	

財務部査定の考え方	要求どおり アンテナショップ運営補助金を追加
市長査定の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	20999	地域要望対応事業	担当課	高根支所 地域振興課	内線	3710
予算	会計	1 一般会計	特別予算の 位置付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	2 総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	1 総務管理費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	9 企画費		O	D その他事業	
市長の約束	「合併のメリットを生かしつつ、それぞれの地域の特性を伸ばします。」 ・地域の個性あるまちづくりと、市域の一体感を創るため、地域が手を取り合って取り組む活動に支援します。					

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	高根支所地域全住民	受益者数	452 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・市有施設で地域からの要望に即応するもの		
概要	事業の実施手法(手段)	・市道、農道、水路等の公共施設の軽微な修繕		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 地域要望対応事業採択件数	目標値	件		7	11	7	10
実績値				7	11	7		
算出根拠等			達成率(%)	100	100	100	-	
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 地域要望対応事業実績額	目標値	円		2,400	2,500	2,500	2,500
実績値				2,368	2,196	2,500	-	
算出根拠等			達成率(%)	99	88	100	-	
コスト面	指標名		単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
	① 受益者1件当たり(円)	目標値	(A/B)		4,803	4,613	5,531	5,556
実績値				493	476	452	450	
算出根拠等			達成率(%)				-	
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)			H21 決算額	H22 決算見込額	H23 予算額	H24 実施計画額	
	歳出(千円)			(A) 2,368	2,196	2,500	2,500	
	受益者負担(使用料・負担金等)							
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)							
コスト面	一般財源			2,368	2,196	2,500	2,500	
	指標名		単位	H21	H22	H23見込	H24計画	
	① 受益者	高根支所地域全住民	(B)	493	476	452	450	
		算出根拠等						-

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準	評価	評価内容の説明など
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A (2) 結びつく	A	・地域の個性あるまちづくりを推進する上から政策的に重要である。
	B (1) 一部結びつく		
	C (0) 結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A (2) 非常に多い、急増している	A	・市有施設等の適正な管理が必要である。
	B (1) ある程度のニーズがある		
	C (0) 少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A (2) 市民全体におよぶ	B	・市有地の適正な管理は、市の財産を守る上からも全市民への市有施設の適正な管理についても波及効果がある。
	B (1) 概ね市民全体におよぶ		
	C (0) わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A (2) 十分に達成している (100%以上)	A	・住民の要望に即応する事業であることから十分に達成している。
	B (1) 概ね達成している (75%以上)		
	C (0) あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A (2) 有効である	A	・この事業に対する住民の意識も高く、実績割合も高いことから十分に達成している。
	B (1) 概ね有効である		
	C (0) 見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A (2) 課題はない・解消されている	B	・地域住民の創意と工夫による地域づくりを推進するために有効である。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A (2) 課題はない・解消されている	A	・必要最小限の発注をしている。
	B (1) 改善・工夫に取り組んでいる		
	C (0) 対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A (2) 適正である	A	・事業内容は適正である。
	B (1) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A (4) 適正である	A	・事業内容は適正である。
	B (2) 概ね適正である		
	C (0) 改善が必要である		
合計	18.0 / 20.0	100点換算 → 90 / 100	

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・引き続き対応する。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	平成26年度を終期としている事業であり、執行内容を精査し、27年度以降の対応について検討する必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	2,500	2,500	0	4,000	4,000
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	2,500	2,500	0	4,000	4,000

予算要求の概要	公共施設等の軽微な修繕経費
要求額増減理由	
①支所	
②本庁所管課(地域政策課)	
地域政策課	

財務部査定の考え方	きめ細かな地域要望対応を推進(配分額の調整による)
市長査定の考え方	財務部調整どおり

# 平成23年度事業評価シート兼事業別予算概要

事業名	43299	土地借上料	担当課	高根支所 基盤産業課	内線	3741
予算	会計	1 一般会計	特別 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	
	款	4 衛生費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業	
	項	4 繰出金		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	
	目	2 簡易水道繰出金		O	D その他事業	
市長の約束	6	市民の生活と生命(いのち)・財産を守ります。 ・安全安心な上水道を提供するため、施設の整備を加速するとともに、未給水地域の解消に努めます。				

## 1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	簡易水道施設地主	受益者数	425 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	施設用地の借上料		
概要	事業の実施手法(手段)	市の基準単価を上回る土地賃貸借		
前回の評価からの改善・改革のポイント				

## 2 事業の推移・結果(Do)

活動指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 土地賃借契約者数		人	目標値	14	14	14	14
			実績値	14	14	14	14
算出根拠等	達成率(%)			100	100	100	-
成果指標	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 給水人口		人	目標値	493	476	452	450
			実績値	472	456	425	-
算出根拠等	達成率(%)			96	96	94	-
コスト面	指標名	単位	目標・実績	H21	H22	H23見込	H24計画
				目標値	実績値	目標値	実績値
① 受益者1件当たり (円)	(A/B)		目標値	17,571	17,571	17,571	10,643
			実績値	14	14	14	14
算出根拠等	達成率(%)						

  

コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)	H21	H22	H23	H24
		決算額	決算見込額	予算額	実施計画額
	歳出 (千円) (A)	246	246	246	149
財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)				
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)				
	一般財源	246	246	246	149

## 3 分析・評価(Check)

評価項目	評価基準		評価	評価内容の説明など
	A(2)	B(1)		
① 事業の実施が市の総合計画・市長公約等の目標達成に結びつくか	A(2)	結びつく	A	安全安心で安定した水道を提供するための施設設置場所を借上している。
	B(1)	一部結びつく		
	C(0)	結びつかない		
② 事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか	A(2)	非常に多い、急増している	B	市民への安心安全な水の供給のため、施設数の借上げは必要である。なお、土地所有者からは引き続き借上げ希望が大半だが、一部売買希望者もある。
	B(1)	ある程度のニーズがある		
	C(0)	少ない、減少している		
③ 事業効果が市民全体に及ぶか	A(2)	市民全体におよぶ	A	安定した水道の提供は高根市民全体に関わる。
	B(1)	概ね市民全体におよぶ		
	C(0)	わずかな受益者に限定される		
④ 事業の活動・成果指標の達成状況はどうか	A(2)	十分に達成している (100%以上)	A	安心安全な水道の提供に寄与している。
	B(1)	概ね達成している (75%以上)		
	C(0)	あまり順調でない (75%未満)		
⑤ 成果向上・目的達成のための手法・活動内容の有効性	A(2)	有効である	A	安定した水道の提供のために必要である。
	B(1)	概ね有効である		
	C(0)	見直しが必要である		
⑥ 事業実施における課題の解消、前年度の評価結果や指摘事項等への対応	A(2)	課題はない・解消されている	B	契約更新時に市の基準により契約できるよう所有者と引き続き交渉していく。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑦ コスト削減に向けた改善・工夫	A(2)	課題はない・解消されている	B	契約更新時に市の基準により契約できるよう所有者と引き続き交渉していく。
	B(1)	改善・工夫に取り組んでいる		
	C(0)	対応していない		
⑧ 受益者1件当たりのコスト	A(2)	適正である	C	契約更新時に市の基準により契約できるよう所有者と引き続き交渉していく。
	B(1)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
⑨ 成果に対するコスト(人件費も考慮)は適正か	A(4)	適正である	C	契約更新時に市の基準により契約できるよう所有者と引き続き交渉していく。
	B(2)	概ね適正である		
	C(0)	改善が必要である		
合計		11.0 / 20.0	100点換算 → 55 / 100	

## 4 今後の方向性(Action1)

次年度の実施方針(担当課評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	土地賃借料が市の基準となるよう所有者との単価交渉を継続的に進めるが、安心安全な水の供給のため、引き続き継続する。				

総合評価(二次評価)	<input type="radio"/> 維持・改善	<input type="radio"/> 拡大	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 廃止の検討	<input type="radio"/> 完了
	・市の基準に近づくよう単価交渉を継続する必要がある。				

議会からの提言等	
----------	--

## 5 予算編成(Action2) ※予算要求時記入

事業費(人件費除く)	H23当初	H24要求額	増減	財務部調整額	市長査定額
歳出(千円)	249	149	△ 100	152	152
財源内訳					
国庫支出金					
県支出金					
起債					
その他					
地域振興特別予算	249	149	△ 100	152	152

予算要求の概要	土地借上料
要求額増減理由	単価の見直しによる
①支所	市の基準に近づくような単価交渉の継続が必要
②本庁所管課(上水道課)	施設の継続的運営のため、市基準額での土地借上料に近づくよう単価交渉を継続する必要がある。
地域政策課	地域振興特別予算措置期間に基準内の借地料となるよう交渉が必要である。

財務部査定 の考え方	要求どおり
市長査定 の考え方	財務部調整どおり